

愛知の海で見られる生きもの

ここでは、愛知県の海や海岸で見られる生きものの一部を紹介합니다。
海岸に行ったら、さがしてね!

イルカのなかま。
イルカとちがって、
せびれがないのが
特ちょうだよ。



スナメリ
(全長 160~170cm)

冬を日本ですごす
わたり鳥だよ。
ひがたでカニなどを
食べてるよ。



ハマシギ
(全長 約16~22cm)

ワタリガニと
呼ばれる
おいしい
カニだよ。



ガザミ
(甲幅 約16cm)

海そうのなかま。
海がよごれると
たくさん
増えることが
あるよ。



アオサ

いろんな貝がらを
すみかにしてるよ。
空きかんを
すみかにすることも
あるんだよ。



ムラサキガイ
(殻長 約6cm)

外来生物*

地中海から
世界中に広がった
外来生物。
岩などに
くっついているよ。

愛知県は、
日本一アサリが
たくさん
とれるよ。



アサリ
(殻長 約4cm)

たまごを
うむために
海岸に
やって来るよ。



アカウミガメ
(甲長 約60~100cm)

ウニのなかま。
体にあなが
あいていて、
かしパンみたいだから
こんな名前だよ。



スカシカシパン
(殻径 約15cmまで)

はまべに
打ち上げられて
いることが
あるよ。

ひがたで
よく見られるカニ。
あなに
すんでるよ。



ヤマトオサガニ
(甲幅 約3.5cm)



■発行・お問い合わせ先

愛知県環境部資源循環推進課
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL:052-954-6234 FAX:052-953-7776
発行:平成26年3月

【出典】

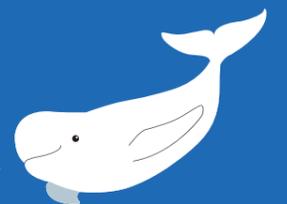
■アオサ、アサリ、ヤマトオサガニ、ガザミの写真：
「干潟ってどんなところ」(愛知県水産試験場)
■アカウミガメの写真：表浜ネットワーク
■ハマシギ、ダイゼン(表紙)の写真：名古屋市野鳥観察館
■各生きもの大きさ：
・「レッドデータブック2009」(愛知県,2009年)
・「小学館の図鑑NEO 水の生物」(小学館,2005年)

海のごみと 生きものたちへの影響

愛知県海岸漂着物 環境学習プログラム補助教材

クイズにも
チャレンジしてね!

ウェブサイト「あいちのうみのこと」
<http://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/>





海のごみいろいろ

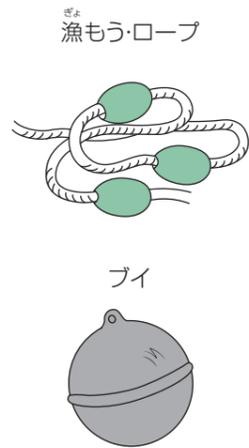


海岸に流れ着くごみには、さまざまなものがあります。
草や木以外では、家庭からでるごみが、海のごみの約半分をしめます。

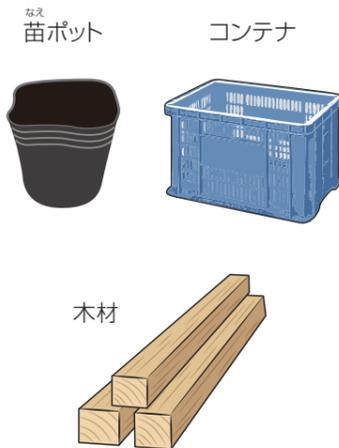
家庭からでるごみ



漁業からでるごみ



農業・工場からでるごみ



愛知県の海にもたくさんのごみが流れ着いています…



佐久島(西尾市)



篠島(南知多町)



伊良湖地区海岸(田原市)

便利だけど分解されないプラスチックごみ

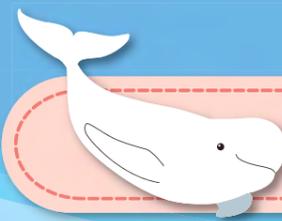
海に流れ着くものには、自然のものと人工のものがあります。自然のものは、長い時間がたてば、土や栄養(えいよう)などに分解(ぶんかい)されて、自然にかえります。

一方で、人工的につくられたプラスチックごみは、いつまでたっても分解(ぶんかい)されず、だんだん細かいかけらになって、拾えなくなって残ってしまいます。



自然のもの
(流木や貝がらなど)

人工のもの
(プラスチックせい品など)



海のごみで、生きものがこまってる!?

海のごみが、生きものをこまらせる原因は、おもに2つの理由があります。

1 えさとまちがえて、飲みこむ・食べる

2 からまって、はずれない

Q 海のごみが、生きものに
どんな影響(えいきょう)を与えるか考えてみよう。

ビニールぶくろ・
プラスチックのかけら



つり糸・漁(ぎよ)もう



わたしたちにできること

日々の行動を見直し、ごみの量をへらすことが、美しい海岸を守り、
生きものたちの命を守ることに繋がります。

1 まず、出るごみをへらそう!



2 外出先でのごみは、家に持ち帰ろう!



3 環境学習を体験しよう!

4 クリーンアップ活動に参加しよう!

ウェブサイト「あいちのうみのこと」
<http://kankyojoho.pref.aichi.jp/kaigan/>



ひょうちやく
漂着ごみのことを楽しく学べるウェブ
サイトです。環境学習プログラムや県内の
クリーンアップ活動(しょうかい)も紹介しています。
クイズにもチャレンジしてね。